



令和元年度\*  
「かなざわユースプロジェクト」  
事業報告書

かなざわユースプロジェクトでは、長土塀青少年交流センターを拠点として、  
青少年が地域の活動等に参画し、次世代を担うリーダー育成を  
行うとともに地域活性化を目指しています。

金沢市青少年団体連絡協議会

かなざわユースプロジェクトでは主に下記の事業に取り組んでいきます。

## ①ユースコラボ事業

長土塀青少年交流センターを拠点に、地域団体・企業等とかなざわユースプロジェクトの青少年をマッチングする事業です。地域等の課題に対し、青少年の意見を聞きたい、青少年と一緒に新しいイベントを行いたい等の要望を受け、青少年を派遣し、青少年が地域等と一緒に課題の解決に向けて話し合い、協働活動を行います。地域社会と積極的に関係を持つことにより青少年の成長を促し、地域の活性化を図ります。

地域団体



企業



青少年団体



事務局



マッチング!

かなざわユースプロジェクト  
参加者



## ②サポーター事業

長土塀青少年交流センターの施設の広報や、施設を使用した自主企画を行います。青少年のリーダーシップ力の向上を促すとともに、長土塀青少年交流センターで活動することで、施設の青少年交流拠点としての機能を強化します。

## ③野外活動指導員養成研修

野外活動の安全対策講習やキャンプ場での実地研修を通して、野外活動の知識を深め、スキルアップすることで、次代の野外指導員の養成を支援します。

## ④参加者交流会

参加者の親睦を深める交流会や、活動の共有を行う交流会を開催します。

## ⑤初年度研修

新規参加者のスキルアップのための研修を行います。

## ⑥成果発表会

1年間の活動を発表・共有します。

高校生・大学生・社会人のメンバーが活躍中!

## ファシリテーターからのメッセージ



金沢星稜大学  
人間科学部  
池田幸應 教授


金沢市は、「犀川」「浅野川」が中心市街地を流れ、豊かな自然環境の中で古くから歴史・文化が醸成されてきました。その中で「学都」として多くの高等教育機関が存在し、青少年が古きを学びつつ、創造的に取り組んでいます。全国に先駆けて、「金沢市における学生のまちの推進に関する条例」(平成22年4月施行)により、積極的に学生と市民との交流によるまちづくり創出が推進され、今年度においても次世代育成としての人づくり・まちづくり活動の拠点として、長土塀青少年交流センターが設置されました。


令和元年7月20日に「かなざわユースプロジェクト」発足式が行われ、この施設を拠点に青少年が「かなざわ」についての理解を深め、地域の防災訓練、公民館活動、野外活動実地研修や交流会等を通して次世代としての地域創生に寄与する活動を行ってきました。最初は、お互いに少しよそよそしかったメンバーも、回を重ねるごとに笑顔で相互に積極的に交流し、議論や協働活動を通じて楽しみながら活動に参加するようになりました。直接的に地域での諸活動に実践的に取り組むことでメンバー相互のみならず、地域の方々や事務局とのやり取りを通して、企画・運営に深く関わることで、主体的実践力が強化されたものと考えられます。また、これまで以上に地域を身近に感じる事ができたものと思います。


最後に、当事業の第1期生ともいえる令和元年度メンバーの今後の地域人材としての活躍を期待するとともに、金沢市青少年団体連絡協議会事務局の皆様、そして本事業でご指導いただいた地域の方々や講師の皆様のご助力に感謝いたします。


# 令和元年度の活動をご紹介

令和元年度はセミナーや学習会に加え、野外活動研修や地域団体等との協働活動、長土塀青少年交流センターのサポーターとして自主企画を下記のとおり実施しました。

① かなざわユースプロジェクト発足式		長土塀青少年交流センター
活動日	令和元年7月20日(土)	
活動したサポーター	高校生1名、大学生11名	
講師	星稜大学 池田幸應 教授	
概要	◆セミナー「青少年の主体的な学びと地域の活性化」 ◆長土塀青少年交流センター 施設見学会 ◆サポーターの顔合わせ、自己紹介、グループワーク	
サポーターの感想	長土塀青少年交流センターの館内説明を聞いて、会議だけでなく、料理や音楽・ダンスができる部屋や、自習コーナーがあり、幅広い使い方ができる施設だと知りました。青少年や地域の方が気軽集える施設だということをもっと広めていけたらよいと思います。参加者のほとんどは大学生ですが、高校生もいて、しかもハキハキと自分の意見を持って話していたので、とても刺激を受けました。	

② 公民館活動学習会		長土塀公民館
活動日	令和元年8月22日(木)	
活動したサポーター	大学生5名	
講師	長土塀公民館 武藤廣行 館長	
概要	◆金沢市の公民館活動の概要説明 ◆長土塀公民館の紹介 ◆グループワーク	
サポーターの感想	この活動では、公民館活動を通じた金沢のまちづくりについて知ることができました。私が育ったまちとは大きく異なり、金沢の公民館は地域と地域住民が繋がるために、住民自らがボランティアで活動を行っているため、よりリアルな住民の声を取り入れて活動ができていたと思いました。金沢をお手本にして住民が主役のまちづくりを行えば、他の地域でもより良いまちづくりができるのではないかと感じました。	

③ 市民防災訓練&事前学習会		長土塀青少年交流センター・新神田小学校・高岡中学校
活動日	学習会：令和元年8月22日(木) / 防災訓練：令和元年8月25日(日)	
活動したサポーター	高校生1名、大学生10名	
講師	新神田校下防災対策委員会 畑下勲 委員長	
概要	学習会：防災についての講義、グループワーク 防災訓練：はしご車、煙中訓練、シェイクアウト訓練、地震体験車、水消火器訓練、ドローン訓練見学、企業局給水訓練、救急アプリコーナー、手話通訳コーナーなどを体験した。	
サポーターの感想	貴重な疑似体験をいくつもさせていただき、とてもためになりました。実物の消火器を使用したのは初めてでしたが、想像以上に扱いやすく、非常時にも冷静に対処できそうだと思います。ここで学びを今後に活かすことに加え、家族にもこの体験を伝えたいと思います。参加後に、何を目的に学ぶのか、1人ひとりが参加してどう思ったのかを共有したいです。また、防災についてより多くの人に知ってもらい、考えてもらうためにはどうすればよいのかなどのフィードバックを、これからもっとしっかり行っていきたいです。	

④ 長土塀「絆」交流フェスティバル準備		長土塀青少年交流センター
活動期間	令和元年8月30日(金)～10月3日(木)〈運営会議参加2回、打ち合わせ・準備3回〉	
活動したサポーター	高校生1名、大学生16名	
関わった人たち	長土塀「絆」交流フェスティバル参加団体	
概要	長土塀「絆」交流フェスティバルでの当日のステージ司会と進行を担当した。また、来場者が会場全体をまわるようにクイズラリーを企画し、クイズの作成と解答用紙のデザインを考えた。	
サポーターの感想	フェスティバルで様々な部屋をまわってもらうためにも、会場全体をスタンプラリー&クイズラリー形式にしたのはたいへんよかったです。金沢に関するクイズを作成する中で、私自身金沢のことをあまり知らなかったことに気づき、とても勉強になりました。台風接近により、中止になったのがすごく残念でした。	

## ⑤ 防災クイズづくり

長土塀青少年交流センター・  
長土塀公民館

活動期間	令和元年9月19日(木)～11月3日(日・祝)〈打ち合わせ・準備2回、本番1回〉
活動したサポーター	高校生1名、大学生8名
関わった人たち	地域の子どもたち
概要	防災訓練や学習会で学んだことなどを生かして、火災・大雨・雪害・台風・地震・津波の各ジャンルから1問作成。地域行事の際に参加している子どもたちにクイズを出した。
サポーターの感想	地域の方に防災についての知識を再確認してもらおうと思い、防災クイズづくりを行いました。クイズをつくる中で、私たち自身が防災に関する知識を再確認することができたと思います。クイズの内容については、みんなが災害時に知っておいたほうがよい知識に関するクイズができるように心がけました。今後も防災に関する活動を行い、青少年交流センターが防災の拠点としても機能できるようにしていけるとよいと思います。



## ⑥ 公民館文化祭での自主企画

長土塀青少年交流センター・  
長土塀公民館

活動期間	令和元年9月4日(水)～11月3日(日・祝)〈運営会議参加2回、打ち合わせ・準備4回、当日〉
活動したサポーター	高校生1名、大学生13名
関わった人たち	長土塀公民館の公民館委員、地域の子どもたち
概要	11月3日(日・祝)の長土塀公民館文化祭で新企画を担当した。子どもから大人まで楽しんでもらえるように、簡単につくれるインテリア「コットンボール」づくり体験とミニゲームコーナーを企画・運営した。
サポーターの感想	どの年代も楽しめる企画を試行錯誤しながら考え準備をしました。当日は、コットンボールを作ったり、ゲームを催すことで、子どもたちからお年寄りの方々まで、参加者の笑顔を見ることができたり、直接「楽しかった」「コットンボール、お家に飾るね」といった声を聞くことができ、地域の方と触れ合えてよかったと思いました。課題としては、大盛況で待ち時間ができてしまったことや、何回も遊びに来てくれた子どもと、初めて来てくれた子どもをゲームコーナー全体でうまく回せなかったことがありました。たくさんの子どもが遊べるように、全体を見て、もっと指示を出せればよかったかなと思います。



## ⑦ 長土塀青少年交流センターPR&サポーター募集チラシづくり

長土塀青少年交流センター

活動期間	令和元年10月31日(木)～11月20日(水)〈会議3回〉
活動したサポーター	高校生1名、大学生14名
概要	長土塀青少年交流センターの利用者増加を図るために、PRチラシを作成し、青少年である市内の新成人に配布した。またチラシ裏面では、ユースプロジェクトのオリジナルキャラクターの名前を市内の青少年から募集する旨を広報し、その結果、総数76件の応募があった。
サポーターの感想	チラシ制作に挑戦するのは今回が初めてでした。最初はデザインの知識も何もない状態だったので不安もありましたが、みんなで意見を出し合い、会議を重ねるうちに案がまとまっていくことが実感できました。かなざわユースプロジェクトの参加者の数は充分とは言えません。活動には地域の方との関わりなど、普段の生活では体験できないことがたくさん詰まっています。そこで広報のチラシには活動内容や施設の紹介だけでなく、実際に活動したり使っている私たちの声を書きました。その思いが少しでも届き、多くの人に来てもらえたら嬉しいです。



## ⑧ 防災食体験会


長土塀青少年交流センター・  
甥杉(めおとすぎ)少年の森

活動日	企画・準備：令和元年11月15日(金)／実施日：令和元年11月30日(土)
活動したサポーター	高校生1名、大学生11名
概要	防災活動の一環として、ポリ袋のできる防災食「ひじきの煮物」「さつまいもミルクスープ」を実際に作った。また、防災食品の試食会を行った。
サポーターの感想	防災食づくりでは、ひじきの煮物やさつまいもスープ、お湯で温めて食べるごはん、ピザを作りました。野菜を切ったり、火を点けるための木などを集めたりしました。防災食をあまり食べたことが無かったため、どんな味が気になっていましたが、予想よりもおいしく感じました。この活動は作って食べて片付けるまで、すべて自分たちで行いましたが、全員で協力し合って行うことができたし、実際の現場で活用できる知識を得られたのでよかったです。防災食を作ることは非常に難しく、ボタンを押すだけで簡単に火が点く日常のありがたさを改めて感じ、いざという時のために備えていかなければならないと強く思いました。




## ⑨ 野外活動体験

長土堀青少年交流センター・  
甥杉(めおとすぎ)少年の森

活動日	安全対策講習会：令和元年11月15日(金)／実地研修：令和元年11月30日(土)	
活動したサポーター	高校生1名、大学生11名	
講師	金沢自然冒険隊 蛙の会の皆さん	
概要	安全対策講習会では、野外活動をする上での基礎的な知識を、講師の経験を交えながら学んだ。実地研修では、ロープワークやコンパスワーク、ピザ焼き体験を行うとともに、キャンプ場の冬支度を協働して行った。	
サポーターの感想	野外活動では、縄の色々な縛り方や、危険な虫・山菜、遭難した場合にどうすべきか、遭難時に他の人と合流する方法などを学びました。指導者として人の行動を把握できる人数には限界があり、無理をした行動はかえって遭難する危険が高いということを知りました。当日の実地研修では、縄の結び方1つで全く違う固さ、ほどきにくさなることを体感しました。ロープワークやコンパスワークは、被災時などに活かせると思うので、しっかりと覚えて、いざという時に実践できるようにしたいです。	


## ⑩ ミニ運動会での企画

中央小学校体育館

活動日	令和2年1月26日(日)	
活動したサポーター	大学生3名	
概要	長土堀公民館の「ミニ運動会」で新種目の企画と審判を担当した。子どもも大人も楽しめるよう、運で勝負できる種目を考えた。また、当日は子どもたちにも理解できるよう、デモンストレーションを交えてルール説明をした。	
サポーターの感想	ミニ運動会で、私は競技の説明をさせていただきましたが、皆さんに「分かりやすかった、楽しかったよ」と言っていただし、やってよかったなと思いました。他にも、子どもからお年寄りまで楽しめるように、おもしろい変わった種目があって、企画される方はとてもよく考えていらっしゃるなと思いました。私たちが説明や審判をした「出た目で勝負!」も盛り上がっていて、とてもうれしかったです。ミニ運動会は、寒い冬だからこそ体を動かして温まるという健康的な点の他に、地域の人々と交流して心が温まる点もとても良いと感じました。	


## ⑪ サポーター交流合宿

キゴ山ふれあい研修センター

活動日	令和2年2月1日(土)～2月2日(日)	
活動したサポーター	高校生1名、大学生17名	
概要	サポーターの親睦を深め、交流を促進することを目的に合宿を開催した。また、ユースコラボ事業の始動に向けての会議を行い、合宿の中で1年間の活動を振り返り、各自が取り組んだ活動の情報共有を図った。	
サポーターの感想	こういった交流合宿の中でコミュニケーションを多くとり、仲を深めていけることはとても良いことだと感じました。みんなで協力して行うレクリエーションが多かったので(風船運びリレーやクイズラリーなど)、話し合う回数も多く、楽しんで参加できました。年間を通して、活動で何度か顔は合わせてきましたが、メンバー間でこれだけ時間をかけて交流することは初めてだったので、とても大切な時間であったと思います。ただ、今回は職員の方が先導して、いろいろと合宿の企画内容を考えてくださいましたが、より絆を深めるために、どんな活動をすべきかをサポーター自身が考えて、実施してもいいと思いました。	

## ⑫ 「ぷらっとキゴ山」への参画

キゴ山ふれあい研修センター

活動日	令和2年2月2日(日)	
活動したサポーター	高校生1名、大学生14名	
関わった人たち	市内の6家族 22名、キゴ山ふれあい研修センター職員	
概要	「電気くらの化学実験」と「バードコールづくり」の説明を担当した。また、活動の中で親子をサポートし、イベントのスタッフとして活躍した。	
サポーターの感想	前日に自分たちも実際に実験や工作をやることで、イベント内容への理解が深まりました。イベントを通して、子どもたちだけでなく、親御さんたちにも楽しんでいただけました。電気くらがうまく浮かなかったり、バードコールの音が鳴らなかつたりする親子のところへ、サポーターが様子を見に行ったり、声を掛けたりできていたのでよかったと思います。この経験を生かして、子どもたちとのコミュニケーションに慣れていきたいです。	

名前は「わかば」になりました!

考案者  
市内の大学に通うK・Hさん

たくさんの応募  
ありがとう  
ございました!!



かなざわユースプロジェクト  
オリジナルキャラクター  
名付け企画より



【お問合せ】

金沢市青少年団体連絡協議会事務局(長土堀青少年交流センター内)

TEL:076-220-2102 FAX:076-265-7499 E-mail:nagadohe-yc@city.kanazawa.lg.jp

<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/39026/sisetsu/nagadohei/nagadohei.html>